

Picture Nishinoshima コンテスト 2016 結果発表

先月（平成29年1月）、Picture Nishinoshima 2016の審査結果が公開されました。ピクチャーにしのしまとは、平成28年10月15日から12月15日まで、西ノ島が好きな外国人を対象に西ノ島観光協会と西ノ島町役場地域振興課によって行われたコンテストです。

来町外国人観光客の数が毎年増えており、平成28年では466名を超えた西ノ島町ですが、本コンテストは来町した方々に連絡して西ノ島を思い出させて改めて宣伝するチャンスもありました。フォト部門とイラスト部門を合わせて9カ国から作品総計68点の応募がありました。これからは西ノ島のことを国内外にさらに知って貰うように皆様の作品を活かす予定です。応募者の皆様、たくさんのかわいい写真、面白い写真をありがとうございます。そして受賞者の皆様、おめでとうございます！

※審査結果と応募作品については、西ノ島町の公式ホームページをご覧ください。



フォト部門 1位

(P. Aoto 氏)



イラスト部門 1位

(A. Wood 氏)



町長特別賞

(A. Priymak 氏)

ふるさと子ども体験隊『国際クリスマス交流会』

皆さん、あけましておめでとうございます。教育委員会教育課の国際交流員のクレオです。2016年12月17日(土)に若者宿にてふるさと体験隊「国際クリスマス交流会」を行いました。担当の私(西ノ島町国際交流員第11代目)とエリン・フィットツジェラルド先生(西ノ島町外国語指導助手第1代目!)は26名の体験隊隊員と楽しい時間を過ごしました。

- 1. プレゼンテーション** 私はイギリスと香港のクリスマスの伝統を紹介し、そしてエリン先生はアメリカ、オーストリア、アイルランドのクリスマスの伝統を体験隊隊員に紹介しました。
- 2. クラフト** クリスマスカードを作りました。体験隊隊員たちは真面目に絵を描いたり、マスキングテープを使ってクリスマスツリーを作ったりして、素敵な作品を作成しました。
- 3. ゲーム** 今年は椅子取りゲームではなく、座布団取りゲームにしました(笑)。体験隊隊員たちは真剣に勝負をし、会場は笑い声に包まれました。
- 4. 昼食** 今年もボランティアさんが作ってくださった美味しいランチを皆で頂きました。ボランティアさんたちに心を込めてお礼を申し上げます。ご馳走様でした。
- 5. プレゼント交換** ラストは体験隊隊員が一番楽しみにしていた国際クリスマス交流会恒例のプレゼント交換でした。エリン先生の素敵な歌声で体験隊隊員たちはプレゼントを交換し、クリスマス会のラストを楽しみました。

参加していただいた皆さんのおかげで素晴らしいクリスマス会になりました。今年もよろしくお願い致します。





国際交流員シェルシーによる『シェルシージャーナル』

『2月と言えば節分、バレンタイン、そして断食？！』

突然ですが、質問です。リオのオリンピックにも姿を見せたサンバ娘の派手な踊りは見たことがありますか。カーニバルと呼ばれている祭で有名ですが、実はアメリカにも、ブラジルのカーニバルと似ている祭りがあります。これは、「マルディグラ祭り」という、2月頃に行われる行事です。(正確な日にちは毎年変わります。)

米ルイジアナ州ニューオーリンズ市で行うマルディグラ祭りですが、大きな行列（パレード）を中心とした、青森県のねぶた祭りに負けないぐらいカラフルな山車と元気な掛け声も注目の、エナジーと人混みで満ち溢れている大祭りです。行列の参加者がお餅でなく、紫・緑・金三色のビーズやコイン（プラスチックの物）、お菓子を観客に撒きます。



なぜこんなに盛り上がるのでしょうか。一言でいうと、「目いっぱい遊び尽くしてから、落ち着いて真剣に人生を考えよう」という概念です。厳密に言うと、宗教のルーツを持つマルディグラ祭りですが、翌日がなんと40日間の断食期間の始まりです！レントと呼ばれる期間ですが、現代では断食よりは食生活を少し制限するのが多く、人によっていろいろ変りますが、『肉や贅沢な物を我慢する』アメリカ人を多く見かけます。肉がダメだが魚が許されているということで、期間内は地域のファミレスの前に「レントお祝い！お魚祭」等の看板が現れます。

実は2月頃だけでなく、5月頃に行う断食期間「ラマダン」もあります。こちらは飲食のすべてを『日が暮れるまで我慢する』ことがポリシーです。朝と昼は我慢し、夜になるとみんなでデーツ（ナツメのようなもの）を分けて食べてから、ご馳走を頂くのが一般的な過ごし方です。

今回紹介した断食は厳守でなく、自由に参加できる行事ですが、実は私も一回だけやってみたことがあります。その時は地域の学生協会が行っていたラマダンのイベントで、私のような「断食体験者」一人あたり、我慢した2食分のお金を子どもの貧困に取り組んでいる支援団体に寄付するチャリティーイベントでした。

2月になると、日本で節分の豆やバレンタインのチョコレートを楽しみながら地元にいる断食中の友達を思い出します。伝統・食生活関係なく、西ノ島の皆様にとって、『味』のある2月になります様に！